

# 2011年3月期 決算説明資料

---



KANEMATSU CORPORATION

2011年5月13日

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。



---

1 . 2011年3月期 決算説明	・・・	3
2 . 2012年3月期 業績見通し	・・・	18
3 . 兼松が取り組む環境ビジネス	・・・	27
Appendix	・・・	39



---

1

## 2011年3月期 決算説明



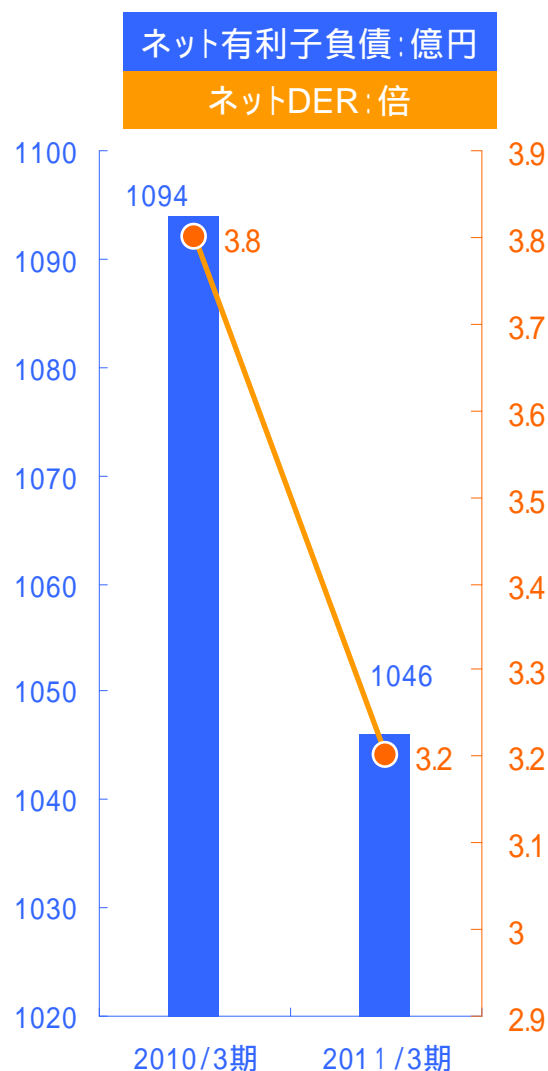
## 2011年3月期 決算ハイライト (P/L項目)

### 増収・増益を達成

(億円)	2010年3月期	2011年3月期	増減額	増減率
売上高	8,613	9,369	756	9%
営業利益	122	180	58	48%
経常利益	82	143	61	73%
当期純利益	35	92	56	160%
(参考)包括利益	53	51	-2	-3%

アジア・新興国を中心とした外需を取り込み増収増益

## 財務体質は着実に改善



(億円)	2010年 3月末	2011年 3月末	増減額	増減率
総資産	3,986	3,887	-100	-3%
純資産	458	496	38	8%
自己資本(注1)	289	331	42	15%
自己資本比率(注2)	7.3%	8.5%		1.2pt改善
グロス有利子負債	1,931	1,736	-195	-10%
ネット有利子負債	1,094	1,046	-47	-4%
ネットDER(注3)	3.8倍	3.2倍		0.6pt改善

注1: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分

注2: 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

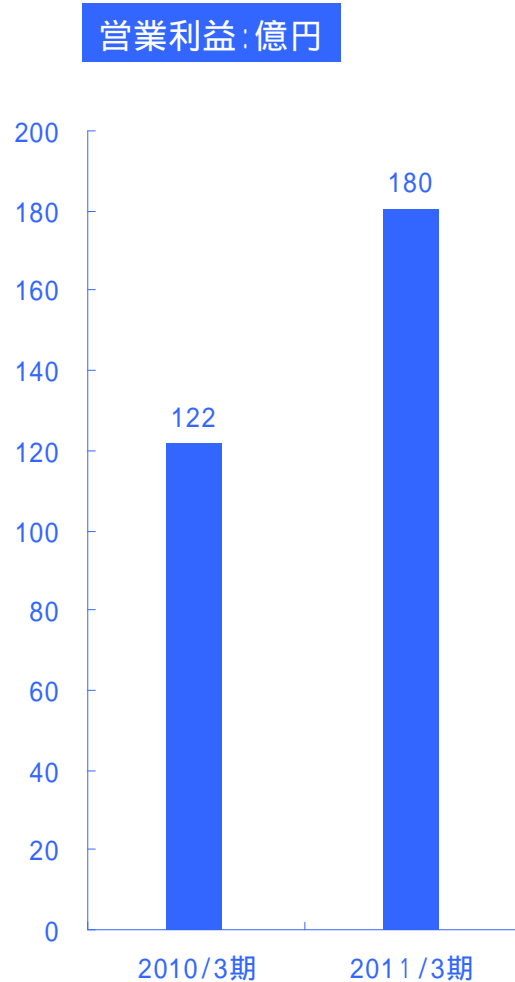
注3: ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

利益積み上げによる自己資本の増加と、  
借入金返済による有利子負債の削減を継続



# 2011年3月期 決算概要 (P/L)

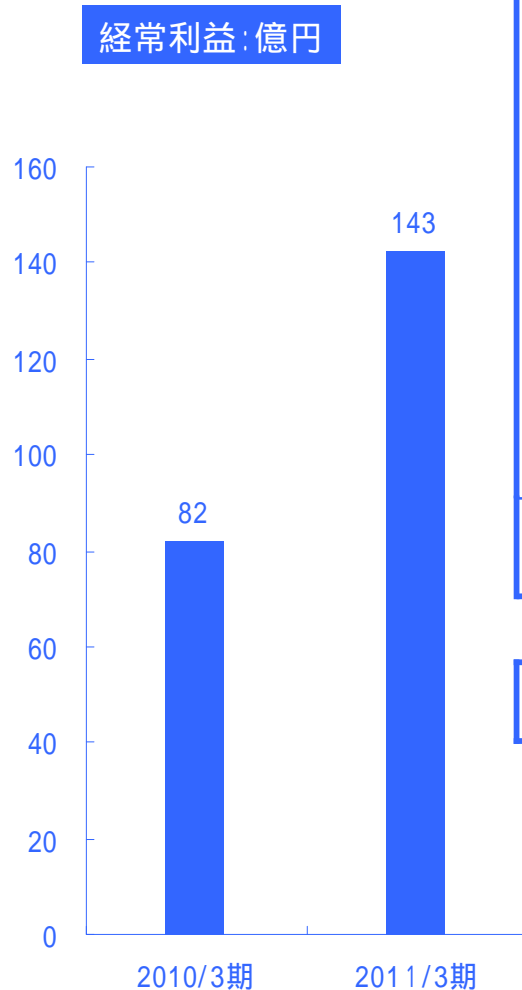
(億円)	2010年3月期	2011年3月期	増減額	増減率
売上高	8,613	9,369	756	9%
売上総利益	741	769	28	4%
売上総利益率	8.6%	8.2%	-0.4pt	
販管費	619	589	-30	-5%
うち、人件費	319	306	-13	-4%
うち、物件費他	300	282	-18	-6%
営業利益	122	180	58	48%
営業利益率	1.4%	1.9%	0.5pt	



好調な外需取り込みにより、売上高・売上総利益が伸長  
 販管費削減を進め、営業増益に貢献



# 2011年3月期 決算概要 (P/L)



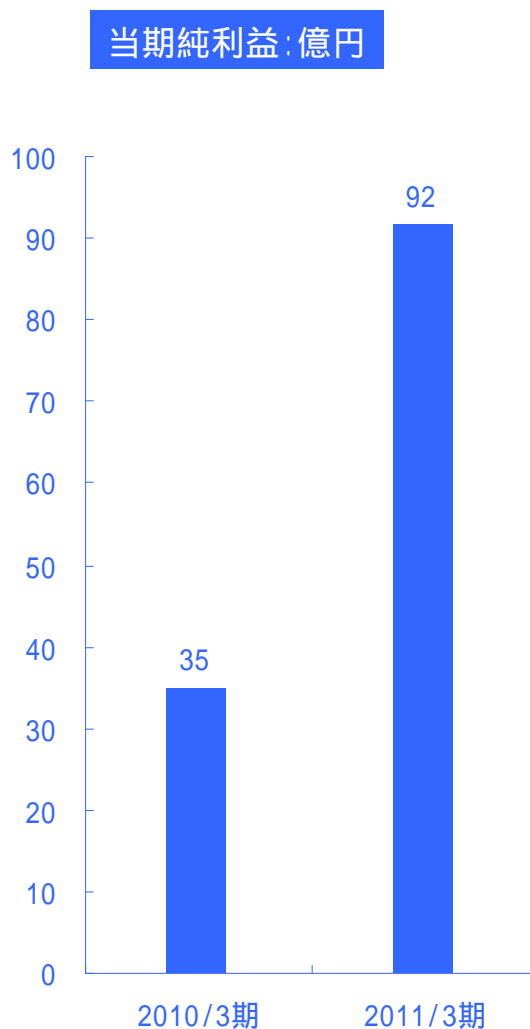
(億円)	2010年3月期	2011年3月期	増減額	増減率
<b>営業外収支</b>	<b>-39</b>	<b>-38</b>	1	4%改善
金融収支	-30	-26	4	-
うち、受取配当金	7	12	5	-
うち、受取利息	7	6	-1	-
うち、支払利息	-44	-43	1	-
持分法損益	-9	-4	5	-
為替差損益	6	-4	-10	-
その他営業外収支	-7	-4	3	-
<b>経常利益</b>	<b>82</b>	<b>143</b>	61	73%
<b>基礎的収益力( )</b>	<b>85</b>	<b>152</b>	67	78%

( ) 基礎的収益力 = 営業利益 + 貸倒引当金繰入額 + 受取配当金 + 金利収支 + 持分法損益

為替差損を計上したものの、持分法損益・金融収支の改善等により、営業外収支は改善



# 2011年3月期 決算概要 (P/L)



(億円)	2010年3月期	2011年3月期	増減額	増減率
特別損益	2	-12	-14	-
うち、特別利益	21	11	-10	-44%
うち、特別損失	-19	-24	5	-
税引前利益	84	130	46	55%
法人税等	-36	-24	12	-
少数株主利益	-13	-14	-1	-
当期純利益	35	92	57	160%

特別損失として、震災関連損失5.6億円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4.4億円を計上

連結納税対象子会社の増加により、法人税等調整額が改善





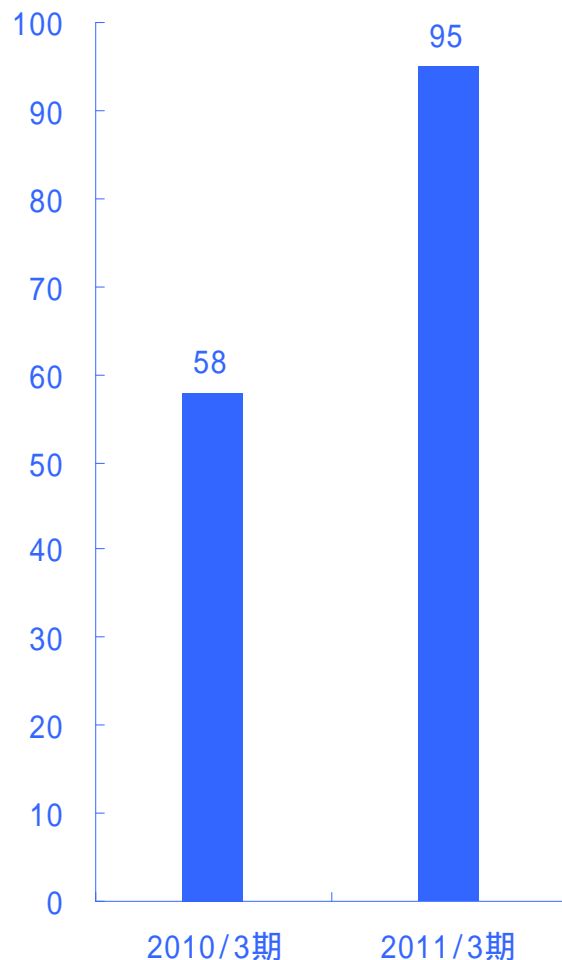
## 2011年3月期 決算概要(セグメント別実績)

(億円)	2010年3月期	2011年3月期	増減額	増減率
<b>売上高</b> (外部売上高)	<b>8,613</b>	<b>9,369</b>	756	9%
電子・IT	2,327	2,539	212	9%
食品・食糧	2,642	2,719	76	3%
鉄鋼	880	988	109	12%
機械・プラント	613	673	60	10%
環境・素材	1,981	2,275	293	15%
その他(含む調整額)	170	176	6	4%
<b>営業利益</b>	<b>122</b>	<b>180</b>	58	48%
電子・IT	58	95	37	64%
食品・食糧	36	28	-8	-22%
鉄鋼	24	34	10	40%
機械・プラント	-9	11	20	黒字転換
環境・素材	9	10	1	6%
その他(含む調整額)	4	3	-1	-28%



## 2011年3月期 通期実績(電子・IT)

営業利益: 億円



(億円)	2010/3 通期実績	2011/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,327	2,539	212	9%
売上総利益	385	411	26	7%
営業利益	58	95	37	64%

### 2011年3月期実績のポイント

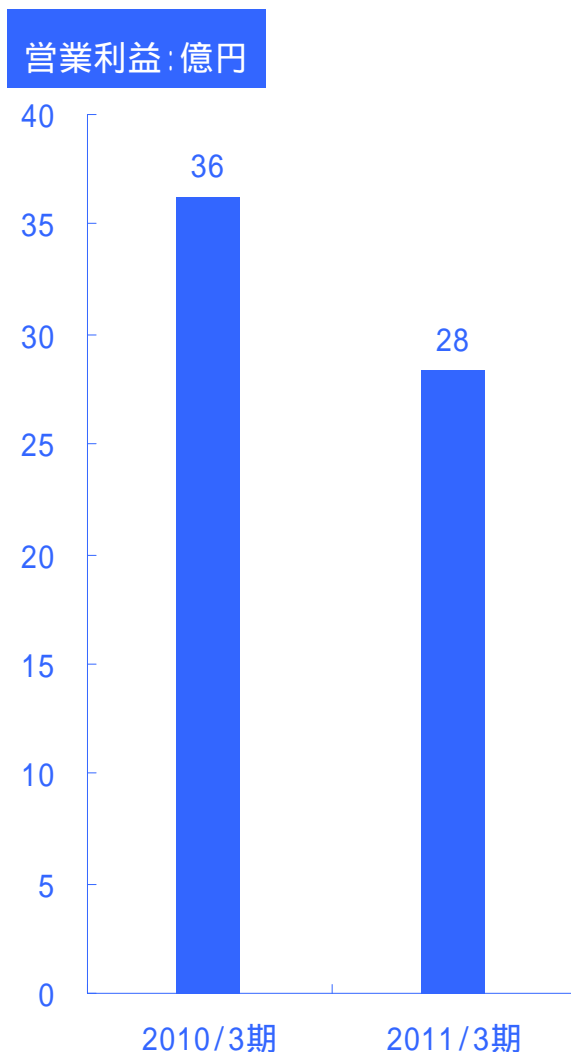
半導体需要の回復を背景に、半導体装置・部品事業は大幅増収増益。

機構部品、ICTソリューション事業、モバイル事業も増収増益。

当該セグメントで全社業績を牽引。



## 2011年3月期 通期実績(食品・食糧)



(億円)	2010/3 通期実績	2011/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	2,642	2,719	76	3%
売上総利益	126	115	-10	-8%
営業利益	36	28	-8	-22%

### 2011年3月期実績のポイント

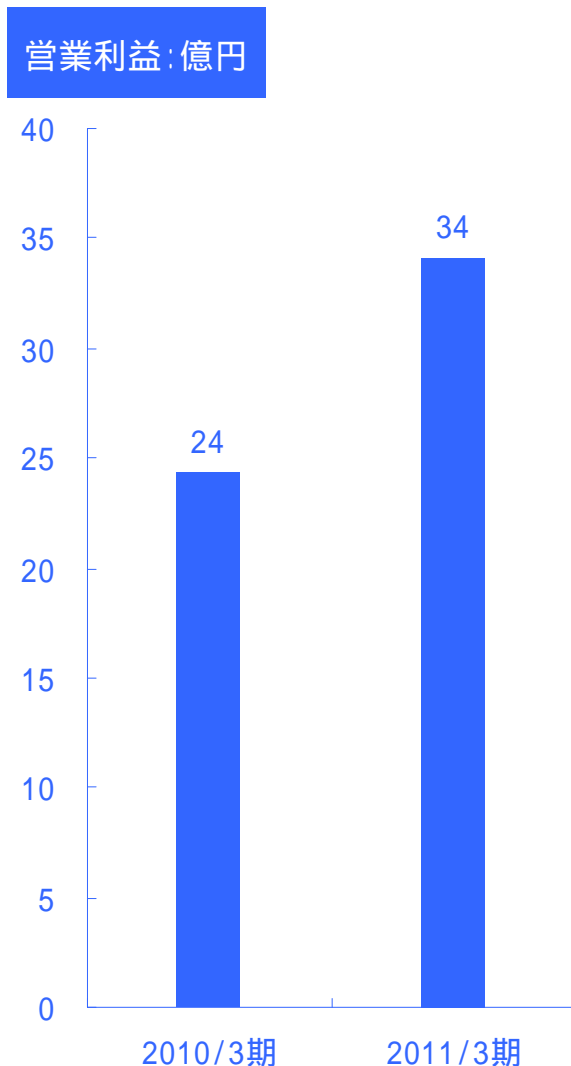
食品事業、畜水産事業は、全般的に好調に推移。

食糧事業は、穀物価格の高騰により売上高が増加するも、国内市況の低迷等により採算悪化。

飼料事業は、厳しい環境下、取扱数量を着実に確保し、堅調に推移。



## 2011年3月期 通期実績(鉄鋼)



(億円)	2010/3 通期実績	2011/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	880	988	109	12%
売上総利益	64	70	6	10%
営業利益	24	34	10	40%

### 2011年3月期実績のポイント

自動車産業の復調を背景に、欧米自動車用途向け取引が堅調に推移。

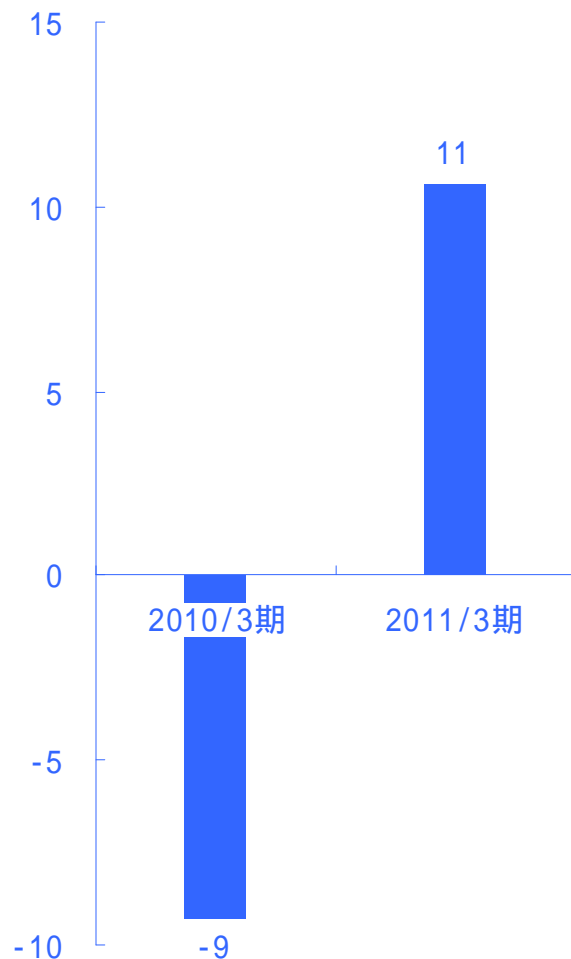
北米・アジア向け特殊鋼・ステンレス取引好調。

原料価格の高騰もあり、鉄鋼原料の取引が活況を呈し、収益に貢献。



## 2011年3月期 通期実績(機械・プラント)

営業利益: 億円



(億円)	2010/3 通期実績	2011/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	613	673	60	10%
売上総利益	54	65	10	19%
営業利益	-9	11	20	黒字転換

### 2011年3月期実績のポイント

中東向けプラント関連取引は好調に推移。

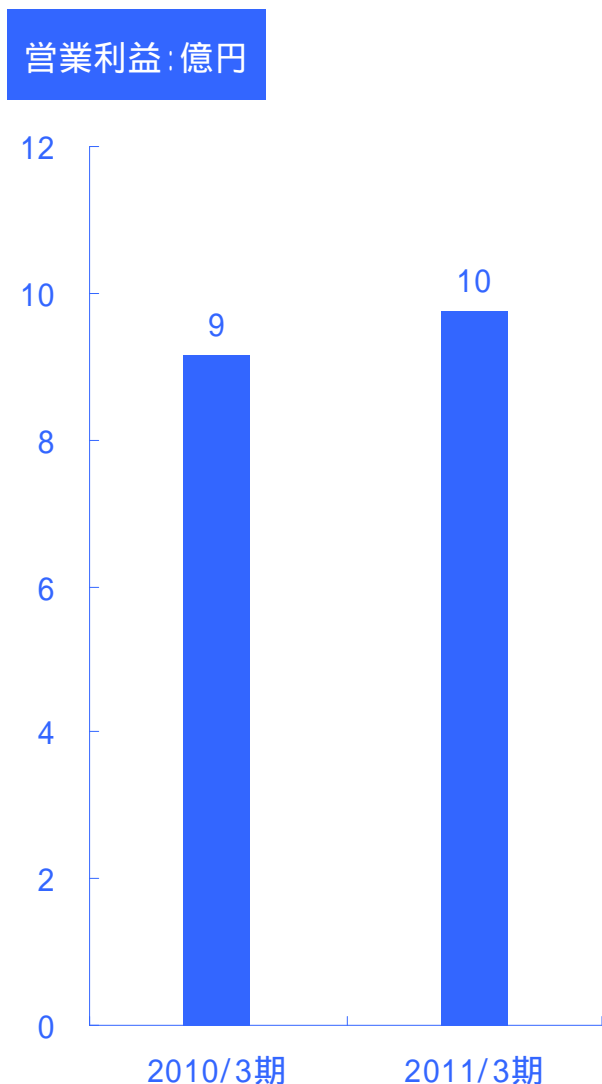
輸送機ビジネスは、中国向けを中心に自動車関連部品輸出取引が堅調に推移。

工作機械事業は、コスト削減に加え、受注環境の回復に伴い取扱高が増加。

太陽電池用シリコンウェハー加工事業は、堅調な需要を背景に増益。



## 2011年3月期 通期実績(環境・素材)



(億円)	2010/3 通期実績	2011/3 通期実績	増減額	増減率
売上高	1,981	2,275	293	15%
売上総利益	85	84	-2	-2%
営業利益	9	10	1	6%

### 2011年3月期実績のポイント

石油事業は、国際市況高により売上高増加となる一方、国内需要減退等の厳しい環境下、マージンが低下。

機能性化学品事業は、車載用電池原料の輸出取引が伸張。

ライフサイエンス事業は免疫ミルク販売および医薬原末の輸入が好調に推移。



## “S-Project” 初年度の進捗

### P/L: 初年度計画を達成

(億円)	2011年3月期		計画比 増減額	計画比 増減率
	“S-Project” 計画	実績		
売上高	8,500	9,369	869	10%
売上総利益	750	769	19	3%
販管費	600	589	-11	-2%
営業利益	150	180	30	20%
経常利益	100	143	43	43%
当期純利益	45	92	47	104%



## “S-Project” 初年度の進捗

### B/S: ほぼ計画通り

(億円)	2011年3月期		計画比 増減額	計画比 増減率
	“S-Project” 計画	実績		
総資産	4,000	3,887	-113	-3%
自己資本	330	331	1	1%
自己資本比率	8.3%	8.5%	+0.2pt	
グロス有利子負債	1,850	1,736	-114	-6%
グロスDER (倍)	5.6	5.2	-0.4pt	
現預金	850	690	-160	-19%
ネット有利子負債	1,000	1,046	46	5%
ネットDER (倍)	3.0	3.2	+0.2pt	





## “S-Project” 初年度の進捗

### 収益基盤の強化

事業創造を行い、ポートフォリオの向上を推進するために、事業ユニットを見直し、注力分野の継続的な選択を開始。

#### 事例

太陽電池関連など、環境分野における事業基盤拡大と、新規ビジネスの立ち上げを推進

EVインフラビジネスの推進

太陽電池「UNI-SOLAR」の販売開始

#### 事例

中国・アジアの取り組み強化

中国におけるイメージセンサの開発・販売開始

### 経営基盤の強化

新経営管理システムの導入

- ・ユニット単位での管理システム導入
- ・新業績評価制度の導入

コスト構造の見直し

販管費：前期619億円 今期589億円  
前期比30億円の削減を達成



2

2012年3月期 業績見通し



## 2012年3月期 業績見通し

(億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期見通し	増減額	増減率
売上高	9,369	9,500	131	1%
営業利益	180	170	-10	-6%
経常利益	143	120	-23	-16%
当期純利益	92	55	-37	-40%

世界景気の不安要素がある一方で、アジア・新興国経済の拡大が続き、前期に比べれば減速感はあるものの、成長は持続すると想定

今期については、現時点で把握可能な震災の影響を織り込んだ



## 2012年3月期 業績見通し(東日本大震災の影響)

---

### 2012年3月期に想定される影響

- 輸出：
- ・お取引先が関係する工場等の被災  
    サプライチェーンの寸断等に伴う出荷遅延
  - ・海外は、引き続きアジア・新興国を中心に需要は堅調
- 輸入：
- ・お取引先の被災
  - ・震災に伴う、自粛ムード・消費意欲減退  
    国内消費の低迷・販売量減少、先送り

上記の要因のうち、現時点で把握できる要素は業績見通しに織り込み済み

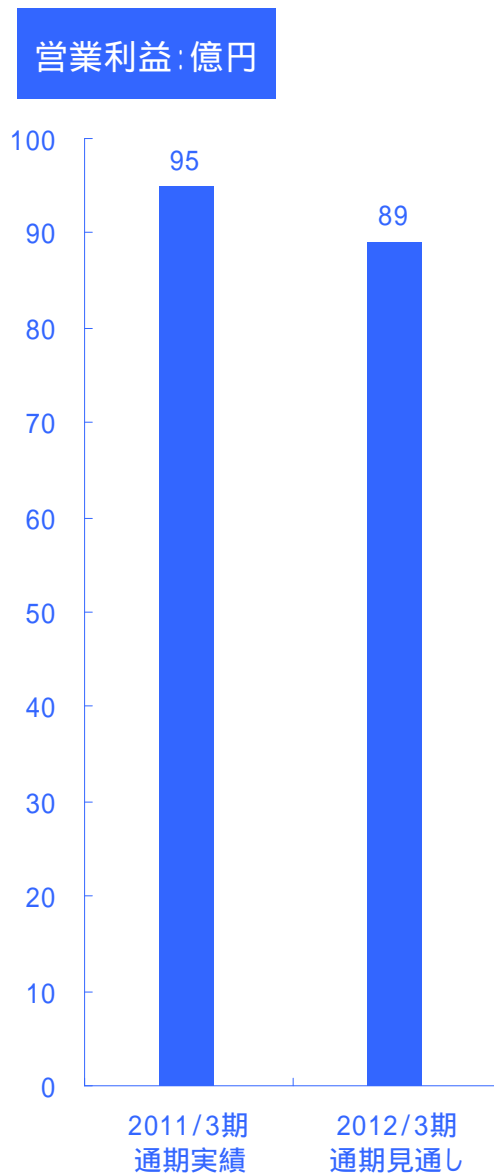


## 2012年3月期 業績見通し(セグメント別見通し)

(億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期見通し	増減額	増減率
<b>売上高</b> (外部売上高)	<b>9,369</b>	<b>9,500</b>	131	1%
電子・IT	2,539	2,550	11	1%
食品・食糧	2,719	2,800	81	3%
鉄鋼	988	1,050	62	6%
機械・プラント	673	685	12	2%
環境・素材	2,275	2,250	-25	-1%
その他(含む調整額)	176	165	-11	-6%
<b>営業利益</b>	<b>180</b>	<b>170</b>	-10	-6%
電子・IT	95	89	-6	-6%
食品・食糧	28	31	3	10%
鉄鋼	34	33	-1	-5%
機械・プラント	11	8	-3	-25%
環境・素材	10	7	-3	-28%
その他(含む調整額)	3	2	-1	-17%



# 2012年3月期 業績見通し(電子・IT)



(億円)	2011/3期 通期 実績	2012/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	2,539	2,550	11	1%
売上総利益	411	405	-6	-2%
営業利益	95	89	-6	-6%

## 2012年3月期 業績見通しのポイント

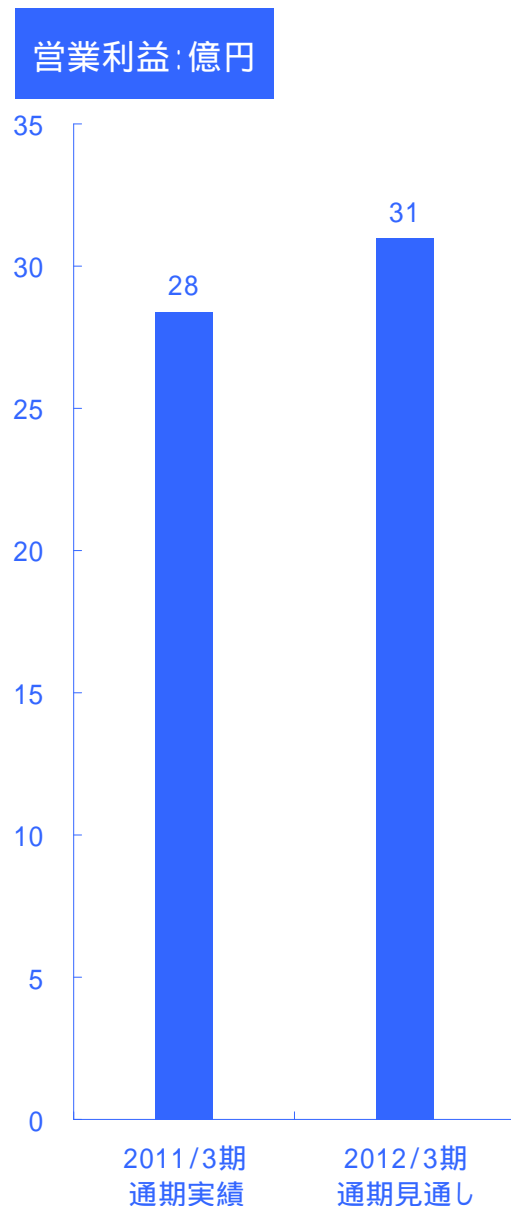
半導体部品・装置事業、機構部品事業は、第2Q以降の震災のサプライチェーンに与える影響に注視。

ICTソリューション事業、モバイル事業は、震災による悪影響があった一方、BCP需要などが見込める。

モバイル事業は、新規大型出店や新機種導入を追い風に、利益の積上げを狙う。



# 2012年3月期 業績見通し(食品・食糧)



(億円)	2011/3期 通期 実績	2012/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	2,719	2,800	81	3%
売上総利益	115	130	15	13%
営業利益	28	31	3	10%

## 2012年3月期 業績見通しのポイント

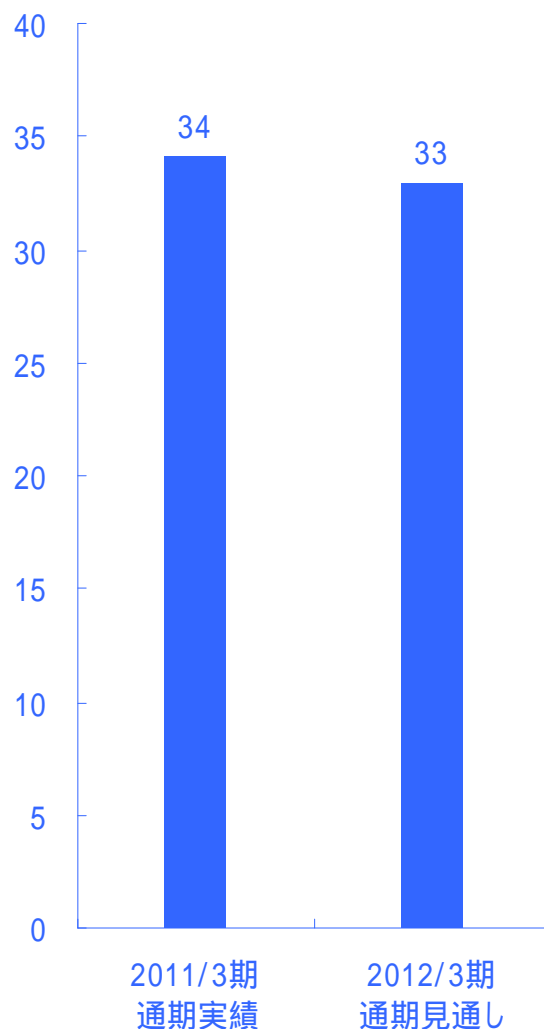
食品事業では、量販店向け取引や中食・外食産業向け取引で堅調に推移すると想定。

食糧事業は、販売増加・収益アップに注力。



# 2012年3月期 業績見通し(鉄鋼)

営業利益: 億円



(億円)	2011/3期 通期 実績	2012/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	988	1,050	62	6%
売上総利益	70	70	0	0
営業利益	34	33	-1	-5%

## 2012年3月期 業績見通しのポイント

北米向け鋼管及び高付加価値ステンレス製品の取引が、今期も堅調に推移する見込み。

欧米・アジア向け自動車関連用特殊鋼製品取引は、今期も安定した収益を見込む。

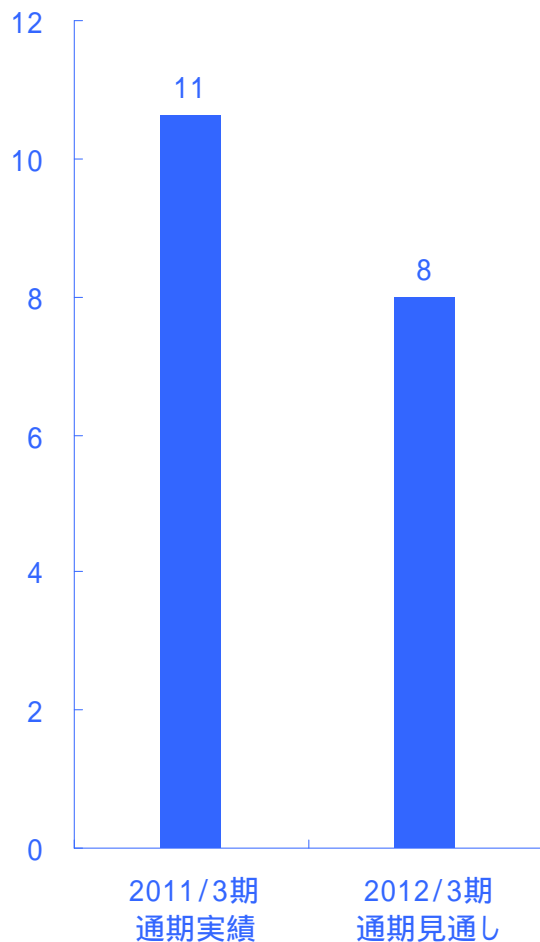
国内取引は、依然低迷を続ける内需の回復に期待。





# 2012年3月期 業績見通し(機械・プラント)

営業利益: 億円



(億円)	2011/3期 通期 実績	2012/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	673	685	12	2%
売上総利益	65	65	0	0
営業利益	11	8	-3	-25%

## 2012年3月期 業績見通しのポイント

主力分野の自動車関連部品、プラント関連取引による収益積上げを目指す。

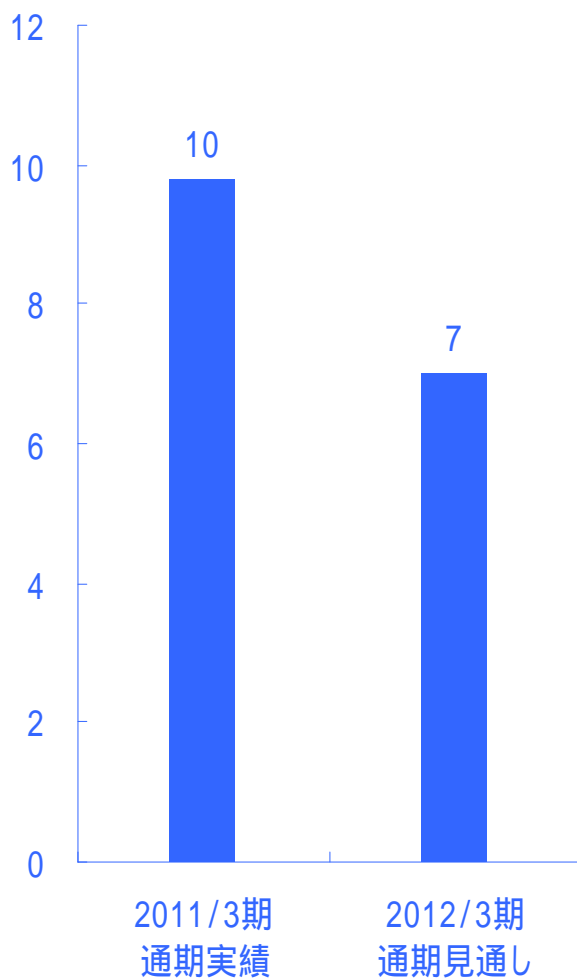
工作機械・産業機械事業については、設備投資動向への震災の影響に留意しつつ、既存商権の維持・拡大を図る。

好調な太陽電池用シリコンウェハー加工事業に引き続き注力。



# 2012年3月期 業績見通し(環境・素材)

営業利益: 億円



(億円)	2011/3期 通期 実績	2012/3期		
		通期 見通し	増減額	増減率
売上高	2,275	2,250	-25	-1%
売上総利益	84	80	-4	-4%
営業利益	10	7	-3	-28%

## 2012年3月期 業績見通しのポイント

石油事業は、国内外取引の規模拡大・収益力強化を目指すと共に、排出権取引等も積極展開を行う。

機能性化学品事業では、米国製の太陽電池モジュールの輸入販売伸張に注力。



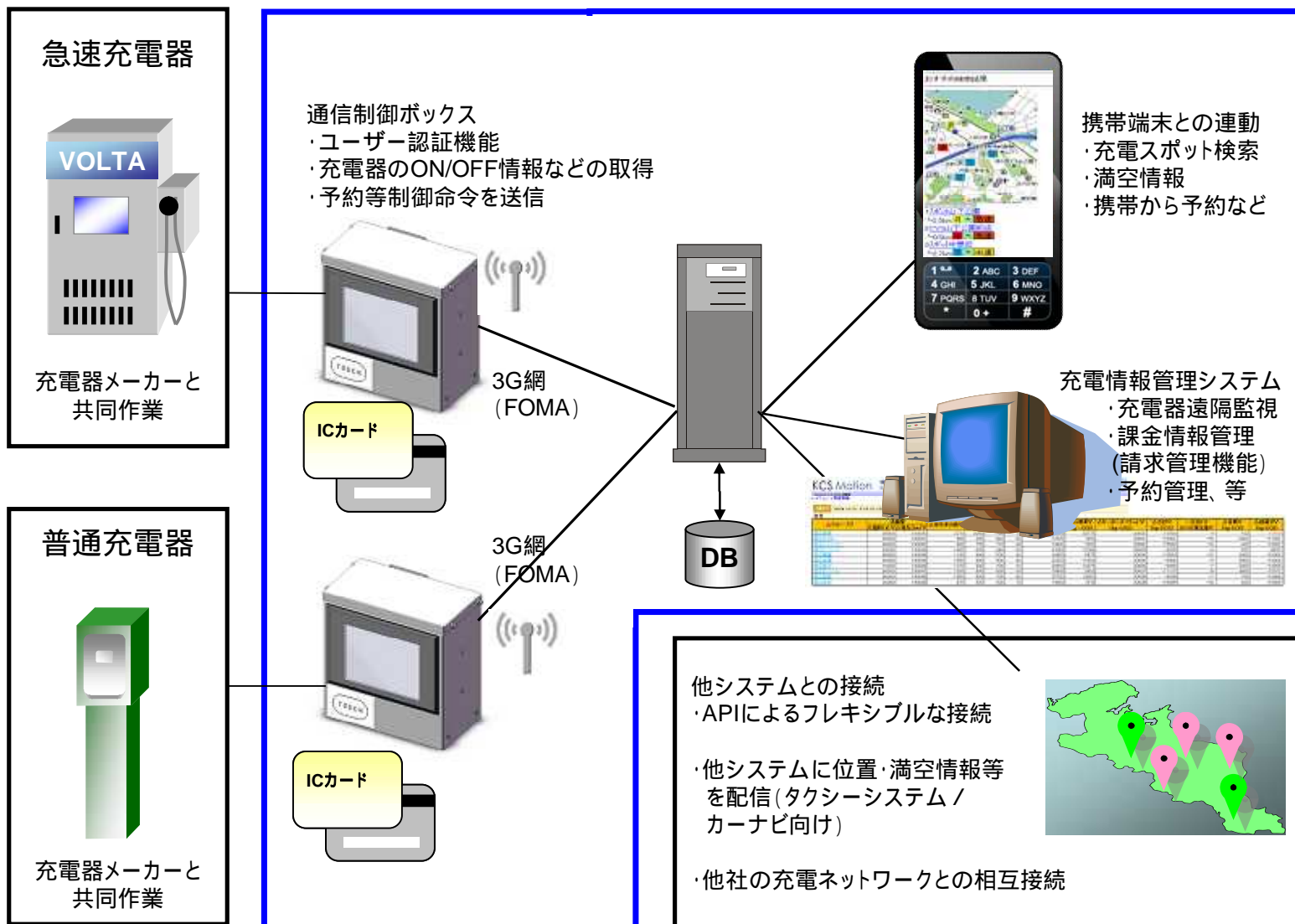
3

## 兼松が取り組む環境関連ビジネス



# EV充電インフラビジネスのご紹介

# VOLTAシステム (通信・認証・課金機能)





# VOLTAシステム(携帯画面)

**KANEMATSU**  
**VOLTA**

ようこそモーション 太郎さん

---

① [ステーション一覧](#)  
② [ステーション予約一覧](#)  
③ [ご利用チケット購入](#)

---

④ [会員情報詳細](#)  
⑤ [パスワード変更](#)  
⑥ [チケット情報](#)

---

⑦ [ご利用方法](#)  
⑧ [お問い合わせ](#)

---

[ご利用規約一覧](#)  
[運営者情報](#)  
[個人情報の取扱](#)

**KANEMATSU**  
**VOLTA**

ステーション情報

---

地図を非表示



■ バルスプラザ  
[住所]  
京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町5  
[営業時間]

[充電種別空き状況]  
**急速**

---

[ステーション一覧へ戻る](#)  
[メニューへ戻る](#)

**KANEMATSU**  
**VOLTA**

■ ステーション名  
京都府総合見本市会館

■ 充電方式  
**急速**

■ 予約時間  
[年月日]  
2010 年  
08 月 26 日

[利用時間]  
10 時 10 分から  
0 分

[ステーション詳細へ戻る](#)  
[メニューへ戻る](#)



# 大阪府 電気自動車(EV)タクシー普及啓発事業

**EVOT** 大阪府電気自動車(EV)タクシー普及啓発事業  
EV Ondemand Taxi [エボット]

50台が大阪を走る! 電気自動車(EV)タクシーに乗ろう。

無料体験期間  
2011年2月15日(火) - 3月9日(水)

※期間中、無料で乗車できる時間は、日によって異なります。また無料体験以外のEVタクシーは、通常のタクシーと同じ料金でご利用いただけます。詳しくは、スケジュールをご確認ください。

twitter @evot\_ezo エボット・イゾワくん  
twitter @evot\_elepha エボット・エレファちゃん

知ってる? 呼び出しタクシー 観光タクシー

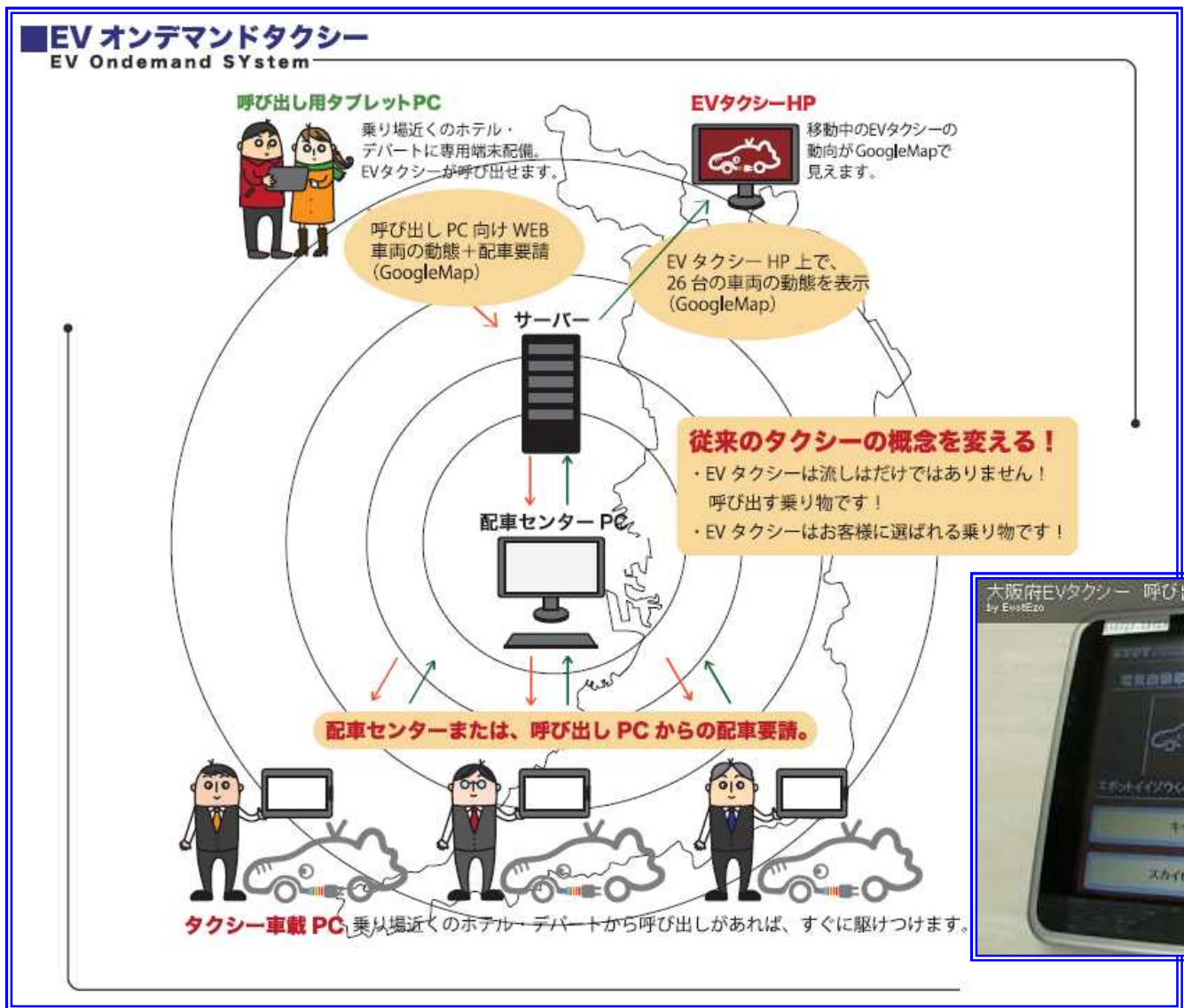
- EVOT共同企業体:
- 兼松(株)(代表)
  - (株)エフエム大阪
  - 兼松コミュニケーションズ(株)
  - (株)JTB西日本
  - (株)システムオリジン
  - (株)パソナ
  - (株)モーシオン

(\* EVOT: EV On-demand Taxiより)

2月15日 出発式の様子



# EVタクシー・オンデマンド・システムのイメージ



- 総走行距離：  
11,000km以上
- 試乗体験者：  
2,800名以上
- 乗車回数：  
1,500回以上

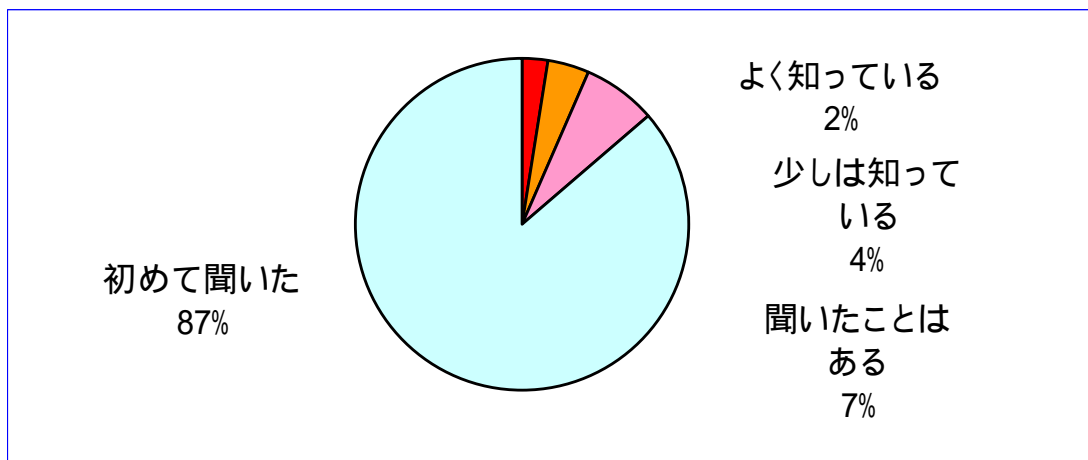


EVタクシー呼び出し端末



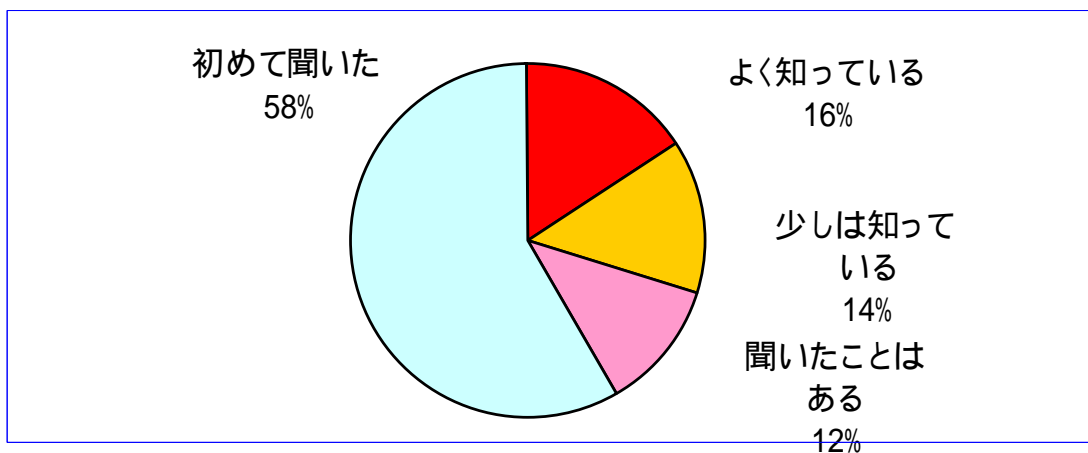
# 街頭での大阪府民の認知度調査

EVタクシーが大阪府に50台導入されることをご存知ですか？  
 (府民の認知度は13% 42%に大幅アップ)



無料試乗実施前  
(1564件)

13%  
(よく知っている～聞いたことはある)



無料試乗実施後  
(1021件)

42%  
(よく知っている～聞いたことはある)



## E V 関連事業 / 実証実験の実績

日時	連携先	内容
2010年3月	京都府	急速充電器設置 / 通信ネットワーク化
2010年4月	JTB、システムオリジン、パナソニック電工など	E V タクシー・レンタカーによる京都観光パッケージの開発と実証
2010年11月	大阪府、E V O T 共同企業体	大阪府 E V タクシーの普及啓発およびビジネスモデル実証実験
2011年1月	日本ユニシス	充電ネットワークシステムの相互連携 京都・大阪・神戸における広域での予約実験など
2011年2-3月	日産自動車、三菱自動車工業など	カーナビへの充電器満空情報の表示実験
2011年2月	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	T S U T A Y A における E V カーシェアリングのモニタリング調査
2011年3月	秋田県、秋田県立大学など	あきた次世代自動車実証実験にコンソーシアムとして参加



## EVインフラ事業の方向性

充電インフラ・システムを核にコンソーシアムによる  
ビジネスモデルの実証を通じた市場創造  
(現在)

・充電インフラ・システムを活用した充電課金ビジネスの開始  
・ユーザー向けアプリケーションの開発・実証  
(短期目標)

・スマート・シティの中でのEV・PHV向けサービスの確立  
・海外でのEV・PHV普及を睨んだ展開  
(中長期目標)



# フレキシブルa-Si(3層)型太陽電池 『UNI-SOLAR』のご紹介



# United Solar Ovonic 社 について

生產品目 : アモルファスシリコン太陽電池(フレキシブルタイプ)  
商品名 : UNI-SOLAR (ユニソーラー)  
生産能力 : 年産270MW  
創立 : 1990年  
親会社 : Energy Conversion Devices (ECD)社  
製造拠点 : 米国 3工場  
                  メキシコ 1工場(モジュール加工)  
                  中国 1工場(モジュール加工)





# UNI-SOLAR の特徴と優位性

折り曲げ可能 & 軽量










---

# Appendix

# 兼松グループの概要

事業セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
<b>電子・IT</b> 	半導体部品・装置	半導体・電子部品、電子モジュール・部材、半導体・液晶装置	兼松エレクトロニクス 兼松コミュニケーションズ 日本オフィス・システム 兼松エアロスペース 新東亜交易
	機構部品	車載部品、プリンタ関連機器、電子モジュール	
	ICT・モバイル	システムソリューション、通信機器・部品 携帯通信端末、モバイルコンテンツ、モバイル広告	
	航空宇宙	航空機、航空機部品	
<b>食品・食糧</b> 	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、ワイン、コーヒー、ココア、砂糖、胡麻、落花生、雑豆、蜂産品、ナッツ、種実類、油脂、乳製品、加工食品	兼松食品 兼松アグリテック 兼松ソイテック 新東亜交易
	畜水産	畜産物、水産物	
	穀物油脂・飼料酪農	小麦、大麦、米、大豆、加工食品、飼料、肥料、ペットフード、ペット用品	
<b>鉄鋼</b> 	鉄鋼貿易	表面処理鋼板、シームレスパイプ	SSOT 兼松トレーディング
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	
	鋳鍛造品	精密鍛造品	
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	
<b>機械・プラント</b> 	輸送機	自動車、船舶、船舶用機材	兼松ケージーケイ
	プラント・インフラプロジェクト	各種プラント、通信案件、ODA案件、光ファイバー、電力プロジェクト	
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
<b>環境・素材</b> 	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権取引	兼松ペトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス
	機能性化学品	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、石油化学製品	
	ライフサイエンス	医薬品、医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品	





# 関係会社売上高・従業員の状況

## 1: 主要連結対象会社の売上高

(億円)	事業	持分比率	2010年3月期	2011年3月期	増減額
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	432	456	24
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100%	959	974	15
兼松食品	食品・畜水産	100%	160	165	5
兼松アグリテック	飼料酪農	100%	106	99	-7
兼松トレーディング	国内鉄鋼 鉄鋼原料	100%	411	433	22
兼松ケージーケイ	工作機械 産業機械	97.90%	347	356	9
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100%	1,246	1,358	112
兼松ケミカル	機能性化学品	100%	172	178	6
新東亜交易	商社	100%	1,118	1,043	-75
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100%	767	753	-14

## 2: 従業員の状況

(人)	2010年3月末	2011年3月末	増減数
単 体	850	832	-18
連結子会社	4,021	3,938	-83
合 計	4,871	4,770	-101

従業員は就業人員数  
(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)



# 関係会社の状況

## 1: 連結会社の黒字・赤字会社数推移状況

(社数)	2010年3月期					2011年3月期					前期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	28	27	8	12	75	31	33	10	7	81	6社増
黒字比率	68%	67%	50%	66%	65%	81%	80%	58%	46%	73%	+8pt
赤字会社	13	13	8	6	40	7	8	7	8	30	10社減
合計	41	40	16	18	115	38	41	17	15	111	4社減

## 2: 連結会社の黒字・赤字額推移状況 (連結調整を加味しない単純合算ベース)

(億円)	2010年3月期					2011年3月期					前期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	31	11	2	2	46	35	11	4	1	52	+5億円
赤字額	-5	-1	-11	-2	-19	-3	-2	-8	-1	-14	+5億円
合計	26	10	-9	0	27	33	9	-4	-0	38	+10億円



# “S-Project”概要

## ビジョン

世界経済の激変の中で、『事業創造集団』として成長し、社会に貢献していきます。

## 基本コンセプト

事業の継続的な選択と集中を推進し、内外の商機を機敏に取り込むことにより、収益基盤の強化を図ります。

効率性・健全性を一段と高め、足場固め・経営基盤の強化を図ります。

お取引先との信頼関係を深め、共に事業創造を追求します。

### 業績目標（2013年3月期）

連結売上総利益	800億円
連結営業利益	190億円

### 財務目標（2013年3月期）

自己資本比率	10%超
ネットDER	2.0倍程度

可及的早期の復配を目指す



# “S-Project”概要

## 収益基盤の強化

事業の継続的な選択と集中  
成長戦略の推進

### 事業ポートフォリオの戦略的構築

『ICT・電子』、『食料』、『環境』、『鉄鋼・プラント』の中で、今後成長の期待出来る事業に経営資源を重点的に配分します。

ICTビジネス・電子ビジネスの収益増強

ソリューション事業基盤の拡大、中国・アジアでの取組強化

食料分野の事業基盤拡大と収益力強化

中国・アジア地域での販路拡大、食資源の供給体制強化

太陽電池関連など環境分野における事業基盤拡大と新規ビジネス立ち上げ

太陽光・電池分野に注力、EV関連事業への参画

鉄鋼・プラント分野における収益基盤拡大

アジアにおける自動車関連事業の取り組み強化

## 経営基盤の強化

財務内容の改善

効率経営の推進

連結経営システムの高度化・深化

グローバルな人材育成

### 財務内容の改善

ネット有利子負債の削減、

資産ポートフォリオの組み換え

### 効率経営の推進

間接部門のスリム化などコスト構造の見直し

### 連結経営システムの高度化・深化

新経営管理システムの導入、内部統制整備、

コンプライアンス取組強化

### グローバルな人材育成

連結経営を担う人材育成、海外人員の増強



# “S-Project” 計画・初年度実績

(億円)	2011/3期		2012/3期 計画	2013/3期 計画
	計画	実績		
売上高	8,500	9,369	9,500	10,500
売上総利益	750	769	775	800
販管費	600	589	605	610
営業利益	150	180	170	190
経常利益	100	143	120	140
当期純利益	45	92	55	65
【セグメント別】				
売上高	8,500	9,369	9,500	10,500
電子・IT	2,300	2,539	2,450	2,600
食品・食糧	2,700	2,719	3,000	3,300
鉄鋼	900	988	1,000	1,150
機械・プラント	550	673	650	700
環境・素材	1,900	2,275	2,250	2,600
その他(含む調整額)	150	176	150	150
営業利益	150	180	170	190
電子・IT	70	95	75	80
食品・食糧	40	28	45	50
鉄鋼	25	34	30	35
機械・プラント	0	11	2	4
環境・素材	9	10	12	15
その他(含む調整額)	6	3	6	6

(億円)	2011/3期		2012/3期 計画	2013/3期 計画
	計画	実績		
総資産	4,000	3,887	4,040	4,100
自己資本	330	331	385	450
自己資本比率	8.3%	8.5%	9.5%	10%超
グロス有利子負債	1,850	1,736	1,770	1,690
グロスDER (倍)	5.6	5.2	4.6	3.8
現預金	850	690	850	850
ネット有利子負債	1,000	1,046	920	840
ネットDER (倍)	3.0	3.2	2.4	2.0倍程度



---

[memo]



---

[memo]



兼松株式会社

**KANEMATSU CORPORATION**